

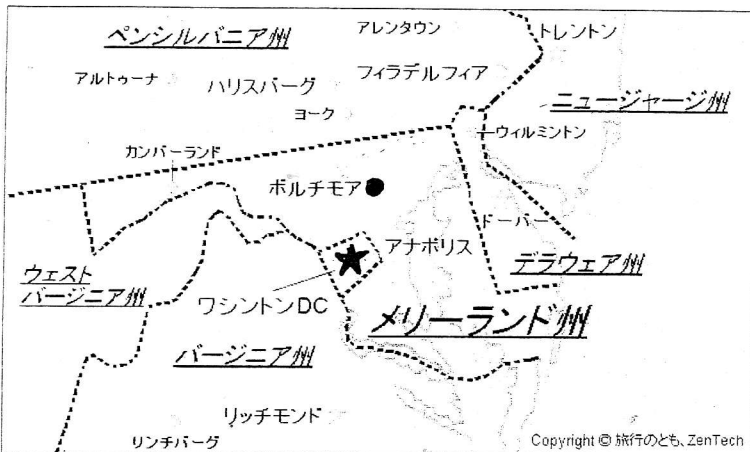
安倍首相がオバマ大統領にリニア技術を売り込む！？

..... 読売、朝日が相次いで伝える

日本強靱化計画として、今後 10 年間に200兆円の公共投資を行う方針を打ち出した自民党が政権を握って 2 か月余りが経過した。この間、公共事業費4.7兆円を盛り込んだ13.1兆円の補正予算が26日成立し、コンクリートから人間への歯車は速度を速め、またコンクリートへと逆回転を始めている。

2月24日、米ホワイトハウスで日米首脳会談が行われ、読売新聞は事前に、「日米がワシントン-ボルティモア間のリニア建設で合意」と報道。朝日新聞は同日の朝刊で、「安倍首相が首脳会談で、オバマ大統領にリニア技術を売り込んだ」と報じた。

一連の記事が、日本側の一方的なセールスなのか、すでに米側がリニア計画を考えて合意したことなのかは不明である。読売は、「米国は11路線・総延長 1 万3700キロを130億ドル(約 1 兆 2 千億円)で整備する計画を進めており、超電導リニアの導入はワシントン-ボルティモア間(64キロ)が有力候補とされている」と伝えているが、リニアの建設コストがバカ高いことには触れていない。これが事実だとしても、建設費やいつ導入するのか明確でなく、JR東海の意を受けた日本側の売り込みに過ぎないとも受け取れる。



姉妹都市に危険なリニアを走らせるな

ボルティモアは人口約64万人で、メリーランド州の州都である。チェサピーク湾の奥部に位置し、天然の良港として知られる。メリーランド州は神奈川県と姉妹都市提携を結んでいる(1979年)。大リーグのオリオールズ、アメフトのボルツのホームタウンとしても知られる。米が採算性、自然破壊、電磁波の影響を無視して、危険で金のかかるリニアをすんなり受け入れるとは思えない。平和な姉妹都市に危険なリニアを走らせるわけにはいかない。

リニア推進派二つの集まり、ともに住民の声を無視

講演会「鉄道ネットワークと明日の神奈川」

(東京・神奈川連絡会、相模原連絡会から10名参加)

1月24日午後、海老名市のホテルで、神奈川県東海道新駅設置促進期成同盟会、リニア新幹線建設促進期成同盟会、相模線複線化促進期成同盟会3者主催による講演会が開かれた。講師は日大教授で都市工学専攻の岸井隆幸氏。表題の話にはなかなか触れず、横浜や品川、渋谷などの駅中心の再開発を肯定。交通政策審議会の18号答申の「混雑緩和」「速達性」「空港・新幹線アクセス」「バリアフリー」という都市交通体系の在り方などで自説を展開したが、首都東京の話が中心で、リニアに関係する県内の交通システムについてはほとんど触れられなかった。定員350名、市民は100人くらいだった。

川崎市新総合都市交通計画説明会

(麻生の会、中原・高津の会からのべ6名参加)

2月中旬、高津、麻生、川崎区の3か所で行われた。市は多くの市民に聞いてもらおうという熱意がない。いずれの会場も市民より市職員のほうが多いと見た。リニアについては、1行だけ記載されているが、市の計画は、川崎市民が橋本・品川・新横浜に45分以内でアクセスできるよう交通体系を考えている。

「のぞみ」が新横浜に停まらなくなったら、中部の市民は橋本まで行かなくてはならない。品川に戻って、川崎を通るリニアに乗ることもない。また、国交省から予算面でNOが出た市営地下鉄や市民の反対で断念した川崎縦貫道が盛り込まれているのは問題である。

.....
会員に登録して一緒に活動しましょう！会費年間千円
郵便振替口座記号番号 00120-3-489093
リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会

.....
ここが問題！リニア新幹線～NEWS No. 5
発行：リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会
発行責任者：天野捷一、懸樋哲夫